

クラブ活動報告・予定

※学年は受賞時を記載

活動報告期間：2022年4月1日～6月30日 活動予定期間：2022年7月1日～12月31日

中学校・高等学校

バトントワリング部

〔活動予定〕
 <中学校>
 ●2022 Japan Cup (9/10)
 ・団体 全国中学校バトントワリング選抜大会

<高等学校>
 ●2022 Japan Cup (9/8～9)
 ・団体 高校バトントワリング部門
 ・個人 高校生バトントワリング部門(1・2年生)
 (1年)
 (1年)
 ・個人 高校バトントワリング部門(3年生)
 (3年)

ボンボンチア部

〔活動予定〕
 <中学校>
 ●2022 Japan Cup (9/10)
 ・団体 ジュニアボンボン部門

<高等学校>
 ●2022 Japan Cup (9/8～9)
 ・団体 高校ボンボン部門
 ・個人 個人スポーツダンス部門
 (3年)

新体操部

<高等学校>
 ●大阪高校春季体育大会(4/23)
 ・団体 第4位
 ・個人 第12位 (2年)
 第15位 (2年)

●大阪高校選手権大会兼全国・近畿大会予選(5/28)
 ・団体 第4位
 ・個人 第12位 (2年)
 第17位 (2年)

●第76回近畿高校新体操選手権大会(6/17～18)
 ・団体 第6位

●イギリスオンラインAGG大会-フレンドリー大会-(5/14)
 ・団体シニアロングプログラム 優勝

バレーボール部

<高等学校>
 ●春季大会・大阪高校選手権大会
 第1次予選(部別)(4/17)
 ・第4部 Hゾーン
 優勝

〔活動予定〕
 ●大阪高校総合体育大会バレーボール部門
 予選ラウンド(7/17～18)
 ・南地区女子

ソフトボール部

<中学校>
 ●令和4年度 第47回中河内地区中学校春季ソフト
 ボール大会(4/23～30)
 団体 第3位

〔活動予定〕
 ●中河内地区中学校優勝ソフトボール大会
 (7/2～9)
 ●第44回大阪私立中学校ソフトボール選手権大会
 (7/17・18)
 ●第74回大阪中学校優勝ソフトボール大会
 (7/21～29)
 ●第55回東大阪市民ソフトボール大会(8/1～3)
 ●第37回私立中学校女子ソフトボール選手権大会
 (8/4)

<高等学校>

〔活動予定〕
 ●第55回東大阪市民ソフトボール大会(7/17・18)

ソフトテニス部

<中学校>
 ●第56回東大阪市民体育大会(4/9)
 ・個人 優勝 (1年)
 準優勝 (3年)
 第3位 (3年)

●第58回中河内中学校春季大会(6/18)
 ・個人 優勝 (1年)
 準優勝 (3年)

●第58回中河内中学校春季大会(6/25)
 ・団体 優勝

〔活動予定〕
 ●第15回中河内中学校インドアソフトテニス大会
 (10/1)
 ・個人戦 (1年)

●第15回中河内中学校インドアソフトテニス大会
 (10/8)
 ・団体戦

●第40回大阪中学生インドアソフトテニス大会
 (11/3)
 ・個人戦
 (1年)

●第37回近畿中学生インドアソフトテニス大会
 (12/27)
 ・個人戦
 (1年)

バドミントン部

<高等学校>
 ●第76回大阪高等学校バドミントン競技会
 (4/29～5/8)
 ・シングルスⅡ部
 4回戦進出 (3年)
 4回戦進出 (3年)

バスケットボール部

<中学校>
 ●春季中河内中学校バスケットボール大会
 (4/23～30)
 ・団体 優勝

●第56回東大阪市民バスケットボール大会中学生の部
 (6/18～26)
 ・団体 優勝

〔活動予定〕
 ●第76回大阪中学校バスケットボール選手権大会
 (7/21～28)

●夏季中河内中学校バスケットボール大会
 (7/31～8/3)

●第71回近畿中学校バスケットボール大会
 (8/5・6)

(大阪選手権大会で2位以内)
 ●全国中学校バスケットボール大会(8/20～23)
 (近畿大会で3位以内)

●東大阪総合体育大会中学校バスケットボールの部
 (8/27～9/11)

<高等学校>

●令和4年度 第77回大阪高等学校総合体育大会
 バスケットボール大会(4/24～5/4)
 ・団体 ブロック決勝進出

美術・工芸部

<中学校・高等学校>
 〔活動予定〕
 ●第71回 大阪私学美術展 (WEB美術館)
 (8/1～31)

INFORMATION

インフォメーション

2023年度 大学入試一覧

出願前に、必ずホームページや入学試験要項2023をご確認ください。
 ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、日程・内容を変更する場合がございます。

試験名	試験日
総合型選抜 探究学習評価型A	2022年10月15日(土)
総合型選抜 自己推薦入試[基礎学力型]	
総合型選抜1期 (授業体験型/オープンキャンパス参加型/活動実績 アピール型/課題提出型/化学・生物型(基礎範囲))	2022年10月16日(日)
特別選抜 (ファミリー入試1期)	2022年10月29日(土)
学校推薦型選抜 推薦入試A	2022年11月3日(木・祝)
総合型選抜2期 (授業体験型/オープンキャンパス参加型/活動実績 アピール型/課題提出型)	2022年11月26日(土)
学校推薦型選抜 推薦入試B	
特別選抜 (ファミリー入試2期)	
総合型選抜3期 (授業体験型/オープンキャンパス参加型/活動実績 アピール型/課題提出型)	2022年12月17日(土)
総合型選抜 探究学習評価型B	
一般選抜 一般入試A	2023年1月20日(金)・ 21日(土)
一般選抜 一般入試B	2023年2月8日(水)
一般選抜 一般入試C(学力型)/(総合型)	2023年2月28日(火)
一般選抜 一般入試D	2023年3月15日(水)

しょういん幼稚園

幼稚園入園を控えた方を対象に、幼稚園説明会・見学会を行っております。
 説明会にご参加いただき、卒園時のお子さんの姿を想像してみてください。幼稚園の保育方針やこだわり、幼稚園の雰囲気などをお伝えします。是非ご参加ください。



入園説明会

2022年9月3日(土) 10:00～11:30 要予約

入園に関する説明はもちろん、在園児保護者の方にも語っていただきます。また、園内見学も行います。

体験保育会

2022年9月10日(土) 10:00～11:30 要予約

実際に幼稚園での遊び(遊戯室・園庭)を体験していただけます。

大阪樟蔭女子大学・樟蔭高校・樟蔭中学校 ファミリー入試のご案内

本学園の建学の精神に対して深い理解を示して下さるファミリーに該当される子女を募集します。より多くの関係者に学園の魅力をより一層感じていただき、この機会にぜひご検討ください。

大学

対象	ご家族(受験者から1～4親等以内)のいずれかが、本学園の卒業生・在校生の親族*であること ※樟蔭学園の女子専門学校、大学、大学院、別科、短期大学(短期大学部)、高等学校、中学校を卒業(修了)または在籍している方
特典	入学金の半額、140,000円が免除されます。また、スカラシップチャレンジ*の権利も付与されます。 ※ファミリー入試に合格し入学手続きを完了した方が、同一学科(専攻・コース)に限りスカラシップ(年間30万円、最大4年間で120万円が交付される特別給付奨学金)の権利獲得のために一般入試Aを受験することができます。その場合、入学検定料は不要です(出願および書類提出は必要となります)。なお、他学科への出願は認められません。

樟蔭中学校・樟蔭高等学校

対象	ご家族(受験者から1～4親等以内)のいずれかが、本学園の卒業生・在校生の親族*であること ※樟蔭学園の女子専門学校、大学、大学院、別科、短期大学(短期大学部)、高等学校、中学校を卒業(修了)または在籍している方
特典	[入学金]を半額支給します。

◆大阪樟蔭女子大学附属幼稚園にもファミリー入園制度があります◆

入園希望の園児の保護者等が樟蔭学園の諸学校を卒業(修了)等している場合*、入園金の半額を奨学金として支給します。詳しくは、幼稚園までお問合せください。
 ※樟蔭学園の女子専門学校、大学、大学院、別科、短期大学、高校、中学、附属幼稚園のいずれかを卒業(修了)または在学、在園者で、入園希望児の1～4親等内の親族の方々が対象。

「樟蔭ホームカミングデー2022」開催について

ホームカミングデーは、卒業生や元教職員などを招待、歓待して交流を深めるイベントです。新型コロナウイルス感染症の影響から、2020年・2021年は実施を中止していましたが、2022年は3年ぶりの対面開催を予定しています。有名ブランドの人気家電製品など豪華な賞品が当たる福引など様々なイベントをご用意。ぜひお友達と一緒にご参加ください。

日時(予定)	2022年11月20日(日) 13:00～16:00
対象者	2020年度・2021年度に30歳・40歳・50歳…など 10歳毎の区切りの満年齢をお迎えになった学年の方。 ※2022年度・2023年度の対象の方は、2023年にご招待させていただきます。
お申し込み方法	対象の方には、案内状を送付します。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、やむなく中止・日程変更などの場合がございます。予めご了承ください。



お問い合わせ

学園広報課
 TEL:06-6723-8152 FAX:06-6723-8263
 E-mail:gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp

卒業生現況調査へのご協力のお願い

学校法人樟蔭学園 学園広報課

樟蔭学園報「くすのき」をご覧くださいまして、ありがとうございます。樟蔭学園では、学園各校を卒業された皆さまの状況をお聞かせいただくとともに、ご意見をもとに今後の学園運営の参考にさせていただきたいと考えております。つきましては、QRコードをスマートフォンで読み込んでいただき、表示されるアンケートにご回答ください。お名前・ご住所等の変更についても、こちらのメールフォームにて対応いたします。

最後になりましたが、卒業生の皆さまの益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げますとともに、これからもご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。 ※いただいた個人情報は適正に管理し、本学園の運営目的以外には使用いたしません。

【ご注意】

本学と関連があることを装った団体からアンケートが届くことがあります。
 樟蔭学園(各校)または樟蔭同窓会からの直接のアンケートでない場合は、安易にご回答されないようお願いいたします。



学校法人樟蔭学園の2021(令和3)年度の決算概要

学校法人樟蔭学園の2021年度(令和3年度)の決算について、「資金収支計算書」「活動区分資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」それぞれの概略を、「学校法人会計の概要」説明を含め報告いたします。

なお、樟蔭学園のホームページにおいても、財務状況について開示しております。 <https://www.osaka-shoin.ac.jp/disclosure/finance/>

(1) 学校法人会計の概要

「資金収支計算書」は、当該会計年度(4月1日～3月31日)の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにします。

「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書の決算額を、3つの活動(教育活動・施設整備等活動・その他の活動)ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにします。

教育活動による資金収支により、キャッシュベースでの本業である教育活動の収支状況を見ることができ、施設整備等活動による資金収支により、当該年度に施設設備の投資が行われたか、その財源はどうかを確認することができます。その他の活動による資金収支では、借入金の収支・資金運用の状況等主に財務活動を見ることが出来ます。

「事業活動収支計算書」は、当該会計年度の活動(教育活動・教育活動外・特別)に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入後の均衡の状態を明らかにします。また、基本金組入後の収支状況に加えて、基本金組入前の収支状況も表示します。

事業活動収入は、学校法人に帰属する負債とならない収入をいい、事業活動支出は、当該会計年度において消費する資産の取得価額及び当該会計年度における用役の対価等になります。

(2) 決算の概要

1. 資金収支計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで) (単位 千円)

科目	2021年度予算額	2021年度決算額	差異	備考
収入の部				
学生生徒等納付金収入	3,698,542	3,697,474	1,068	
手数料収入	32,903	33,624	△ 721	
寄付金収入	54,738	41,212	13,526	
補助金収入	1,003,960	1,024,765	△ 20,805	
資産売却収入	205,694	215,676	△ 9,982	
付随事業・収益事業収入	24,731	21,586	3,145	
受取利息・配当金収入	34,492	34,490	2	
雑収入	193,731	194,120	△ 389	
借入金等収入	5,770	5,771	△ 1	
前受金収入	211,420	222,273	△ 10,853	
その他の収入	272,733	282,491	△ 9,758	
資金収入調整勘定	△ 522,658	△ 529,762	7,104	
前年度繰越支払資金	1,162,636	1,162,636		
収入の部合計	6,378,692	6,406,355	△ 27,663	
支出の部				
人件費支出	2,942,578	2,900,551	42,027	
教育研究経費支出	1,237,020	1,160,179	76,842	
管理経費支出	324,801	308,017	16,784	
借入金等返済支出	14,003	14,003	0	
借入金等返済支出	216,881	216,881	0	
施設関係支出	247,350	247,319	31	
設備関係支出	82,681	75,447	7,234	
資産運用支出	202,507	330,866	△ 128,359	
その他の支出	292,826	276,279	16,547	
予備費	(80,000)		0	
資金支出調整勘定	△ 328,169	△ 341,236	13,067	
翌年度繰越支払資金	1,146,213	1,218,049	△ 71,836	
支出の部合計	6,378,692	6,406,355	△ 27,663	

注)千円単位で表示するにあり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

資金収支計算書(予算との対比)の主な内容は、次のとおりです。

【資金収入の部】

主に、学生生徒等納付金収入、寄付金収入、付随事業・収益事業収入、受取利息・配当金収入で減収となったがその他の勘定科目で見込みより増収となったことを要因として、資金収入の部は、期末未収入金等の資金収入調整を行った予算対比 27,663千円増額し 5,243,719千円でした。

結果、前年度繰越支払資金を含めた資金収入の部合計は 6,406,355千円となりました。

【資金支出の部】

主に人件費支出、教育研究経費支出・管理経費支出が低めの支出となり、予備費を含めた予算対比 31,106千円の支出減でした。資金支出の部は、期末未払金等の資金支出調整を行った予算対比 44,173千円減額し、5,188,306千円でした。

【翌年度繰越支払資金】

上記の結果、翌年度繰越支払資金は 1,218,049千円となりました。

事業活動収支において、経常的な収支バランスを表す「教育活動収支」と「教育活動外収支」、臨時的な収支バランスを表す「特別収支」が設定されており、当年度の収支バランスの改善又は悪化の原因が経常的なものか、その年度限りの臨時的な要素によるものか判断できます。

事業活動収入から事業活動支出を控除した額「基本金組入前当年度収支差額」から、固定資産を取得するための支出や積立金などで構成される基本金組入額を控除して、当該会計年度の収支の均衡状態を「当年度収支差額」で表します。

「貸借対照表」は、学校法人の資産・負債・純財産(正味財産)を把握し、財政状態を明らかにした、長期的な運営の方向性を決めるための財務諸表です。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度ごとの状況を表す一方、貸借対照表は、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。企業会計と同じく、借方に資産、貸方に負債・純資産を計上し、企業会計の貸借対照表と構造は似ています。

学校法人の収支状況を見るには、事業活動収支計算書の「基本金組入前当年度収支差額」に注目します。

この収支差額とは、事業活動収入から事業活動支出を差し引いたもので、企業会計でいう収益から費用を差し引いた利益に相当するものであります。

しかし、学校法人は一般の企業に比べ極めて公共性が高く、安定した経営を維持して行く必要があるため、この

利益は利潤ではなく、学校の施設設備等の取得財源や借入金の返済財源となるものです。つまり、基本金組入前当年度収支差額によって、当該年度の施設設備等の充実、借入金返済、将来の施設設備の更新等のための引当特定資産等の充実が行われることとなります。

そして、学校法人会計基準は、その財源(学校法人を継続的に維持すべき財源)に充当すべき額を基本金とし、事業活動支出に充てる前の事業活動収入のうちから控除して組入れる(確保する)こととなっています。

基本金組入前当年度収支差額がプラスの場合は、当該年度において自己資金が確保されていることを表し、マイナスの場合は、事業活動収入で事業活動支出を賅えない状態であり、基本的には過年度において蓄積された自己資金を食い潰すか、借金をしない限り経営が成り立たないことを示しています。

ただ、収支状況は単年度のみを見るだけでは判断出来ませんので、過去数年間の傾向や今後の収支の予測を考慮する必要があります。

一般の企業の経営が利益追求を目的としているのに対して、学校法人の経営は長期安定的に教育・研究活動を継続することに主眼がおかれています。学校法人の財務諸表は、学校が、教育・研究活動の質的向上を図りながら、いかに安定的な余裕資金を維持し、資産を形成しているかという視点で見ることが重要であります。

2. 活動区分資金収支計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで) (単位 千円)

科目	2021年度決算額	備考
教育活動による資金収支		
収入	3,697,474	施設設備寄付金除く
手数料収入	33,624	
特別寄付金収入	22,238	施設設備補助金除く
一般寄付金収入	15,225	
経常費等補助金収入	930,724	
付随事業収入	21,586	
雑収入	194,120	
教育活動資金収入計	4,914,992	
支出	2,900,551	
人件費支出	1,160,179	
教育研究経費支出	308,017	
管理経費支出	4,368,747	前受金、未収入金、未払金、前払金
教育活動資金支出計	546,244	
差引	26,980	施設設備以外の寄付金除く
調整勘定等	△ 370,432	
教育活動資金収支差額	573,224	施設設備以外の補助金除く
施設整備活動による資金収支		
収入	3,748	
施設設備寄付金収入	94,041	
施設設備補助金収入	97,789	
施設関係支出	247,319	
設備関係支出	75,447	
引当特定資産繰入支出	79,028	
施設整備等活動資金支出計	401,794	未収入金
差引	△ 304,005	
調整勘定等	△ 66,427	
施設整備等活動資金収支差額	△ 370,432	
小計(教育活動+施設整備)活動資金収支差額		
	202,792	
その他の活動による資金収支		
収入	5,771	
有価証券売却収入	215,676	
引当特定資産取崩収入	103,555	
貸付金回収収入 その他	14,239	
小計	339,241	
支出	34,490	
受取利息・配当金収入	37,373	
その他の活動資金収入計	216,881	
借入金等返済支出	200,000	
有価証券購入支出	51,838	
引当特定資産繰入支出	38,507	
貸付金支払支出 その他	507,225	
小計	14,003	
借入金等利息支出	521,228	
その他の活動資金支出計	△ 147,997	
差引	118	未払金
調整勘定等	△ 147,379	
その他の活動資金収支差額	△ 147,379	
支払資金増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	55,413	

注)千円単位で表示するにあり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

3. 事業活動収支計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで) (単位 千円)

科目	2021年度予算額	2021年度決算額	増減	備考
教育活動収支				
収入	3,698,542	3,697,474	1,068	
手数料	32,903	33,624	△ 721	
寄付金	50,990	37,463	13,527	
経常費等補助金	909,919	930,724	△ 20,805	
付随事業収入	24,731	21,586	3,145	
雑収入	194,013	194,167	△ 154	
教育活動収入計	4,911,098	4,915,038	△ 3,940	
支出	2,893,089	2,850,512	42,577	
人件費	2,033,853	1,955,201	78,652	
管理経費	388,439	371,656	16,784	
徴収不能額等	1,707	1,707	0	
教育活動支出計	5,317,089	5,179,075	138,013	
教育活動収支差額	△ 405,991	△ 264,037	△ 141,954	
収入	34,492	34,490	2	
教育活動外収入計	34,492	34,490	2	
支出	14,003	14,003	0	
借入金等利息	14,003	14,003	0	
教育活動外支出計	20,489	20,488	1	
教育活動収支差額	△ 385,502	△ 243,549	△ 141,952	
収入	24,981	24,981	0	有価証券売却益
その他の特別収入	99,020	101,187	△ 2,167	施設設備の寄付金など
特別収入計	124,001	126,168	△ 2,167	
支出	109,239	109,239	0	施設設備処分など
その他の特別支出	24,143	24,143	0	
特別支出計	133,381	133,381	0	
特別収支差額	△ 9,380	△ 7,213	△ 2,167	
【予備費】	(38,018)		41,982	
基本金組入前当年度収支差額	△ 436,864	△ 250,763	△ 186,101	従来の所属収支差額
基本金組入額合計	△ 338,343	△ 318,651	△ 19,692	
当年度収支差額	△ 775,207	△ 569,414	△ 205,793	従来の当年度消費収支超過額
前年度繰越収支差額	△ 14,728,581	△ 14,728,581	0	
基本金取崩額	51,740	50,224	1,516	
翌年度繰越収支差額	△ 15,452,048	△ 15,247,771	△ 204,278	
特別収支				
事業活動収入計	5,069,591	5,075,697	△ 6,106	従来の所属収入
事業活動支出計	5,506,455	5,326,459	179,996	従来の消費支出

注)千円単位で表示するにあり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

事業活動収支計算書(予算との対比)の主な内容は、次のとおりです。

【経常収支】

教育活動収入は、手数料・経常費等補助金・雑収入が見込みより増収となったことを主な要因として、予算対比 3,940千円の増収でした。

教育活動支出は、人件費・教育研究経費・管理経費が低めの支出となったことを主な要因として、予算対比 138,013千円の減収でした。

教育活動外収支は、ほぼ計画どおりでした。

結果、経常収支差額は、予算対比 141,952千円改善し ▲243,549千円でした。

【特別収支】

特別収支は、ほぼ計画どおりでした。

【基本金組入前当年度収支差額】以上の結果、基本金組入前当年度収支差額は、予算対比 186,101千円改善し ▲250,763千円でした。

学校法人樟蔭学園 2021(令和3)年度 財務比率

1. 活動区分資金収支計算書関係比率 (単位 %)

比率名	算式	2021年度
経営判断	教育活動資金収支差額比率 / 教育活動資金収支差額 / 教育活動資金収入計	11.7

○教育活動資金収支差額比率…学校法人における本業となる「教育活動」でキャッシュフローが生み出しているかを測る比率です。この比率はプラスであることが望ましいですが、「その他活動」でキャッシュフローを生み出し、教育研究活動の原資としている場合もあり得るため、「その他活動」の収支状況を併せて確認する必要があります。

2. 事業活動収支計算書関係比率 (単位 %)

比率名	算式	2021年度
経営状況	事業活動収支差額比率 / 基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	-4.9
収入構成	学生生徒等納付金比率 / 学生生徒等納付金 / 経常収入	74.7
経常補助金比率	教育活動収支の補助金 / 経常収入	18.8
人件費比率	人件費 / 経常収入	57.6
教育研究経費比率	教育研究経費 / 経常収入	39.5
管理経費比率	管理経費 / 経常収入	7.5
借入金等利息比率	借入金等利息 / 経常収入	0.3
基本金組入率	基本金組入額 / 事業活動収入	6.3
人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	77.1
基本金組入後収支比率	事業活動収入 - 基本金組入額 / 経常収支差額比率	112.0
経常収支差額比率	経常収支差額 / 経常収入	-4.9

【経営状況】

○事業活動収支差額比率…この比率がプラスで大きいほど自己資金が充実し、財政面での将来的な余裕につながるものとなります。

【収入構成】

○学生生徒等納付金比率…学生生徒等納付金は、学生生徒等の増減並びに納付金の水準の高低の影響をうけますが、学校法人の帰属収入のなかで最大の割合を占めており、補助金や寄付金に比べて外部要因に影響されることの少ない重要な自己財源であることから、この比率が安定的に推移することが望ましいです。

○経常寄付金比率…寄付金比率につき、施設設備寄付金を除く経常的な要素に限定した比率です。

○経常補助金比率…補助金比率につき、施設設備補助金を除く経常的な要素に限定した比率です。

【支出構成】

○人件費比率…人件費は、学校における最大の支出要素となり、この比率が適正水準を超えると経常収支の悪化に繋がる要因となります。

○教育研究経費比率…この経費は、教育研究活動の維持・充実のためには不可欠なものとなり、この比率も収支均衡を失しない範囲内で高くするのが望ましいです。

○管理経費比率…この経費は、教育研究活動以外の目的で支出される経費となり、学校法人の運営のため、ある程度の支出は止むを得ないものの、比率としては低い方が望ましいです。

○借入金等利息比率…この比率は、学校法人の借入金等の額及び借入条件等によって影響を受け、貸借対照表の負債状況が事業活動収支計算書にも反映しているため、学校法人の財務を分析する上で重要な財務比率の一つです。

○基本金組入率…学校法人の諸活動に不可欠な資産の充実のためには、この基本金への組入が安定的に行われることが望ましいです。

【収支バランス】

○基本金組入後収支比率…この比率は、人件費比率及び学生生徒等納付金比率の状況にも影響され、一般的に人件費は学生生徒等納付金で賄える範囲内に収まっている(比率が100%を超えない)ことが理想的です。

○経常収支差額比率…「教育活動」及び「教育活動外」の経常的な収支バランスを表す比率です。

4. 貸借対照表 (2022年3月31日現在) (単位 千円)

科目	2021年度決算額	2020年度決算額	増減	備考
資産の部				
固定資産	19,101,361	19,690,414	△ 589,053	
有形固定資産	16,921,967	17,575,713	△ 653,746	
特定資産	2,079,036	2,013,219	65,817	
その他の固定資産	100,358	101,483	△ 1,125	
流動資産	2,151,681	2,011,721	139,960	
資産の部合計	21,253,042	21,702,136	△ 449,094	
負債の部				
固定負債	4,330,546	4,591,695	△ 261,149	
流動負債				

一般公開を再開 ～段階的にコロナ規制緩和へ～

樟蔭学園では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館しておりました田辺聖子文学館及びしょういん子育て絵本館に関して、4月より段階的に緩和を試み、徹底した感染拡大防止対策を講じた上での一般公開を再開しました。当館をご利用いただくにあたり、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、やむなく閉館となる場合がございます。予めご了承ください。



大阪樟蔭女子大学 大学院 人間科学研究科 人間栄養学専攻 附属 くすのき健康栄養センター kusunoki health and nutrition center

2018年に、地域住民の健康維持・増進への社会貢献をめざし、一般の方を対象に栄養の専門家の教育・育成に関するアカデミックなスキルを提供することを目的に開設しました。地域住民の方により近い、栄養相談・指導、世代別料理教室やイベント等を積極的に行い、好評を得てきました。この度、新しく大阪樟蔭女子大学大学院 人間科学研究科 人間栄養学専攻 井尻吉信(いじりよしのぶ)教授をセンター長に迎え、更なる充実と発展を目指します。



学校法人 樟蔭学園

大阪樟蔭女子大学/大学院 樟蔭高等学校 樟蔭中学校 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園